年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　H　組

教科担当者：（A～H組：大江）

使用教科書：（ 光村図書　書道Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】書の表現や歴史を理解するとともに、基礎的な技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】書の美しさや作品構成を考え、現在も残る作品の文化的意味や価値をとらえることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】書に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や歴史、多様性などについて幅広く理解するとともに、技術向上を図り、書の伝統に基づき効果的な表現をするための基礎的な技能を身につけるようにする。	書の美しさを感受し、作品の構成要素を考え表現を工夫したり、作品の文化的意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	書写から書道へ 【知識及び技能】 小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・書写と書道に違い ・書道での基本的な学習方法を理解する 教材： 書道用具一式・教科書・プリント（以後、毎回持参）		○		○	【知識・技能】 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校国語科書写で学習したことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 芸術科書道で学習する内容に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	楷書「唐の四大家」鑑賞と臨書 【知識及び技能】 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・楷書の成立と変遷 ・臨書『孔子廟堂碑』 ・臨書『九成宮醴泉銘』 ・臨書『雁塔聖教序』 ・臨書『顔氏家廟碑』		○		○	【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。 【思考・判断・表現】 楷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。	○	○	○	8
	楷書「唐の四大家」まとめ ４文字臨書作品の制作 【知識及び技能】 初唐の三大家と太宗皇帝の関係について理解する。唐の四大家の人柄や政治的立場など、その人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 四大家それぞれの書風に則した用筆・運筆・字形について構想し、理解する。半紙に対しての構成を思考し効果的な作品を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・４字選文し、半紙に臨書		○		○	【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。 【思考・判断・表現】 楷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。	○	○	○	4
	行書 王羲之『蘭亭序』鑑賞と臨書 【知識及び技能】 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	・行書の成立と変遷 ・王羲之の人物像や書道史における位置づけ ・臨書『蘭亭序』					【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。 【思考・判断・表現】				

2学期	【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。			○		○	【思考・判断・表現】 行書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。	○	○	○	14
	行書 空海『風信帖』鑑賞と臨書 【知識及び技能】 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。 古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・空海の人物像や書道史における位置づけ ・臨書『風信帖』		○		○	【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。 歴史的背景や内容を理解している。 【思考・判断・表現】 行書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。	○	○	○	8
3学期	『高野切第三種』鑑賞と臨書 【知識及び技能】 古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。古筆の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・仮名の成立と変遷 ・臨書『高野切第三種』			○	○	【知識・技能】 書風と用筆・運筆について理解している。 日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 【思考・判断・表現】 仮名の古筆や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古筆の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。	○	○	○	10
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能』 目的や用途に則した表現、漢字と仮名の調和した表現の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成の則した表現形式、意図に基づいた表現について構成し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・選文し、半紙に創作		○		○	【知識・技能】 線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりについて理解している。 【思考・判断・表現】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成に則した表現形式、意図に基づいた表現について構成し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
											合計 52